

＞ キャリア形成

水道技術職として採用された場合の
キャリアアップのイメージをご紹介します。
新しい職種なので前例や慣習はありません。
可能性は無限大です。



後期キャリア

40代～

スペシャリストとして、自らの能力を
発揮するとともに、知識・経験を
活かし後輩の育成に注力する

中期キャリア

～30代後半

中堅職員として神戸水道を支える
主戦力になるとともに、様々な
知識・経験の習得に努める

初期キャリア

～30代前半

ジョブローテーションを通じて、
基礎的業務を習得するとともに、
業務適性を把握するように努める

昇任：係員から係長へは、日ごろの勤務状況をふまえた
実力本位・人物本位の評価により昇任していきます。昇任
の時期は、最速で、大学卒で採用後9年目（大学院卒は7
年目）、高専・短大卒で12年目、高校卒で15年目です。

＞ 選考フロー

募集要項・待遇

採用選考は神戸市職員採用試験に準じて行われます。詳しい情報は神戸市職員採用ページをご確認ください。

神戸市水道局 水道技術職採用特設サイト

- なぜ、神戸市水道局が水道技術職採用をしているのか
- 神戸市水道局ではどんな職員が、どのように働いているのか
- 水道技術職の魅力とは何なのか

特設サイトで、よりリアルに感じてください。

インタビュー動画
公開中



よくある質問

Q. 神戸市の他の技術職（「土木」「総合設備（電気/機械）」）との違いは何ですか？

A. 神戸市の他の技術職が局をまたいでキャリアを積むのに対し、水道技術職は基本的に水道局内でキャリアを積んでいきます。水道技術のスペシャリストとして、専門的な知識とスキルを身につけていただきます。

Q. 取得しておいたほうがよい資格はありますか？

A. 選考にあたって必須の資格はありません。専攻（土木・電気・機械）の学びを深めることはもちろん、興味のある資格については、積極的にチャレンジしてください。

Q. 産休や育休はどれくらいの期間とれますか？

A. 産前・産後休暇は出産日をはさんでそれぞれ8週間、育児休業は産休明けから子が3歳に達するまでの期間取得できます。

＊神戸市水道局＊

専門職の公務員

水道技術職採用

（土木 電気 機械）



神戸市水道技術職とは



POINT 01 神戸水道のスペシャリスト

神戸市水道局が120年で培った水道技術
を継承しつつ、未来に向け新しい技術に
挑む、神戸水道に精通したスペシャリス
トです。

POINT 02 設計～施工～ 管理まで総合的に担う

計画・設計から業務に携わり、
造って終わりではなく、その後
の管理まで担う、水道に総合
的に関わる仕事です。



POINT 03 めずらしい 専門職だけど公務員

水道一筋のスペシャリストです
が、神戸市職員の一人です。神
戸の未来のために求められ続け
る、一生モノの仕事です。

> ワークライフバランス

神戸市では、市を挙げて
働きやすい職場づくりに取り組んでいます。
水道技術職も例外ではなく、
ワークとライフのバランスをとって
安定した仕事に取り組んでいます。



※ 2024年度の水道局職員のデータを基にしています。



神戸市水道局の 職員と仕事

日々、安心・安全な水を
安定的にお届けしている
神戸市水道局。携わる
スペシャリストたちとその
仕事内容をご紹介します。

配水管工事の監督 東部水道管理事務所（2023年入庁）

古くなった水道管を地震に強い水道管に取替
え、市内全体の耐震化を行う工事の監督業務
を行っています。現場では不測の事態が発生
し、一筋縄では行かない場面もありますが、
しっかりと役割を果たせたときには大きな達
成感を味わえます。神戸の水道というライフ
ラインを守ることでできる仕事に責任と誇り
を持つことができる仕事です。



安定した水道水を、
次世代に継承する。

配水管工事の設計 配水課（2024年入庁）

水道管工事の設計や積算を担当していま
す。一つの工種が変わるだけで工事費用が
大きく変動するため、漏れがないよう根拠
となる資料を細部まで確認するなど、注意
が必要です。「地震や災害が起きてでも安心
で安全な水を届ける」という想いを胸に業
務に取り組むと、自分が一から作成した工
事図面が完成した際に、大きな達成感を得
ることができました。



当たり前の日常を
守る使命。

浄水場および送水設備の維持管理 浄水統括事務所 設備課（2023年入庁）

市内にある奥平野浄水場および山本山浄水場の2
つの浄水場のほか、市内各所に点在している水
道施設に送水する設備の保守・維持管理を行っ
ています。日々の運転管理を行いつつ計画的に
保守を実行することで、市民の皆様には「安
心」・「安全」な水を「安定」して供給する
「当たり前」に取り組んでいます。神戸の水道
技術職員として様々な問題を解決すべく、知識
や技術の習得に日々励んでいます。



「当たり前」を
支える一助に。

機械工事の設計 浄水統括事務所 設備課（2024年入庁）

水道施設の浄水・送水に関連する機械設備の
更新や保守、維持管理を担当しています。神戸
市は高低差の多い地形が特徴のため、送水機
器の設計では地域ごとに異なる地形と送水量
のバランスを考慮した工夫が求められます。
機械設備の更新では、それぞれの分野で専門
知識を持つ各担当課から出てくる案が発見の
連続で、毎回刺激を受けています。



機械の更新で
水の安定供給を楽しむ。

送水の調整管理 浄水統括事務所 設備課（2022年入庁）

市内各所に点在する多数の送・配水設備を、
遠隔で集中監視・制御するシステムの維持、
運用を行っています。このシステムで蓄積さ
れた過去の様々な記録を解析して、お客様が
必要とする水を、過不足なく供給するための
調整・計画を行っています。天候等の小さな
環境変化で状況が変わるため、それを加味し
た調整が難しく、やりがいのある仕事です。



違いを知ってこそ、
当たり前がある。

機械設備の維持管理 千代浄水事務所（2023年入庁）

浄水場の様々な施設・機械設備関連の維持
管理や補修工事を担当しています。
日々の点検、故障対応や工事立会い、また
浄水処理に欠かせない薬品の管理など行っ
ています。機械設備に関する業務のみなら
ず、浄水場見学に来られた方への説明など
も行っています。多岐にわたる業務に従事
しており、やりがいのある仕事です。



水道技術を、
未来へ届ける。

給水装置の図面審査 給水課（2024年入庁）

家やマンションの建設に伴い、水道工事業者
が提出する給水装置の図面や申請書類の審
査・検査をしています。申請データを取り込
み、給水装置工事施行基準に適合しているか
を図面で確認するため、集中力が必要です。
市民や業者の給水に関する相談窓口としての
役割も担い、頼れるパートナーとして、日々
知識を深めながら不安や問題と一緒に解決し
ています。



給水における
スペシャリストになる。

水道施設工事の設計 技術企画課（2024年入庁）

市内には多数の水道施設がありますが、そ
の中でも浄水場や配水池などの基幹となる
施設に関する維持業務や更新工事の発注等
を行っています。施設毎に様々な課題があ
りますが、その1つ1つが、「生活に欠かせ
ない水道」を守っていくために重要な課題
であり、水道技術職員としての責任とやり
がいを感じながら、日々、業務に取り組ん
でいます。



大切な水を
届けるために。